



ロシアのウクライナへの軍事侵攻に対する JEA 社会委員会声明文

「剣をもとに収めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます」(マタイ 26:52)。

3月1日、日本福音同盟(JEA)理事会から、「ウクライナのための祈りの要請」が出されました。加えて JEA 社会委員会は、福音派諸教会・団体と共に武力によらない平和を呼びかけることを願い、以下の声明を公表致します。

イエス・キリストは、私たちの平和です。イエス・キリストは、ろばの子の背中に乗り、エルサレムに入城し、十字架へと向かわれました。軍馬ではありませんでした。それは、戦いを止めた王の姿です。十字架につけられ、復活されたイエス・キリストにこそ、天と地にあるすべての権力があります。

教会は、イエス・キリストの平和の福音を証しすることによって、すべての人々との平和を保持していきます。イエス・キリストが私たちに、人々の間で平和のために祈り・考え・働くように義務付けるのです。戦争によっては、キリストの平和を実現することはできません。それ故私たちは、今回の事態に無条件の「否」を表明します。

平和の問題は信仰告白の問題です。この私たちの信仰に基づいて、ロシアのウクライナに対する軍事侵攻に強く反対します。私たちは、ロシアのウクライナ侵攻を即時中止して、撤退することを求めます。

また、今後のウクライナおよび NATO 諸国の武力による報復の連鎖によって、さらなる戦闘の激化と被害が増大しないことを願います。

そのために、国連を中心とした国際社会が協力しつつ、両国間の対話と交渉による平和的解決がなされることを望みます。

私たちは、すべての人々の尊いいのちが守られるとともに、この地上にキリストの平和が実現することを祈ります。

2022年3月12日
日本福音同盟(JEA)社会委員会
委員長 小岩井 信